

福山大学ワークライフ支援室

（男女共同参画推進室）レポート

福山大学男女共同参画基本計画2019（第2次）の紹介

福山大学ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）

はじめに

日本のジェンダーギャップ指数における順位は先進諸国の中で最下位にあり、政治や経済への女性の進出が立ち遅れていることが指摘されています。先入観や性別による役割の違いを無意識に肯定するジェンダーギャップが日本社会の根底にあると考えられます。このような社会的背景を考えると、日本の将来を担う学生達が、男女共同参画社会についてその意義を認識し、ワークとライフのバランス感覚を養うことは、重要な課題であると言えます。大学は次の世代を担う人材育成の場であることから、ジェンダーギャップの払拭において重要な立場にあり、学生達に大きな影響を及ぼします。したがって、大学の職場こそ、先駆的な意識に基づいて、男女共同参画やワークライフバランスのとれた環境を実現化させる必要があります。

福山大学は1975（昭和50）年の創設以来、「学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」が行なわれてまいりました。性別での区別や差別がなく、男女共同参画が推進された健康で健全な学びに適した魅力的な学舎であるとともに、教職員にとっても家庭（家族）との時間を大切に、仕事（教育・研究・大学運営）とのバランスがとれた快適な職場環境を目指すことは、その建学の精神に則るものです。

本学は、2009（平成21）年11月に、男女共同参画を積極的に推進する証として、「男女共同参画宣言」をおこないました。福山大学ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）は、男女共同参画やワークライフバランスの推進を図る本学の中核部署として2013（平成25）年に設置されました。さらに、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）での協議等を経て、2014（平成26）年度に2018年度までの5ヵ年計画として、福山大学男女共同参画基本計画が策定されました。この基本計画に従い、生活（家庭）と仕事とのバランスがとれた、男性も女性も学びやすく働きやすいより良い職場環境を目指して、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）では、セミナーや研修会の開催などの啓発活動、一時預かり保育の開設、女性教職員の情報交換会、育児や介護に係わる情報冊子の発行などの活動を行ってまいりました。

2018（平成30）年度は、福山大学男女共同参画基本計画の最終年度になります。そこで、第2次基本計画の策定資料として、現基本計画の進捗状況や評価、ならびにこれまでの活動を報告書としてまとめました。活動報告書には、アンケート調査等を通してワークライフ支援室（男女共同参画推進室）に寄せられた意見も掲載しました。これらを資料として、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）において検討をおこない、第2次基本計画を策定しました。第2次基本計画は、第1次計画の多くを踏襲しましたが、働き方改革が取り上げられている社会的背景を踏まえて、ワークライフバランスを重視した内容となるように検討しました。

本冊子は、2019（平成31）年4月1日から5年間にわたり施行される第2次基本計画を学内に広く周知することを目的に作成しました。また、男女共同参画推進やワークライフバランスに係わるわが国の現状についての資料も「平成30年版男女共同参画白書」（内閣府）から抜粋して掲載しました。それらの資料から、男女共同参画推進やワークライフバランスに係わる課題を一考していただくと幸甚に存じます。

ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）では、今後5年間、この計画を指針として、本学の男女共同参画推進やワークライフバランスの課題に取り組んでまいります。本学教職員の皆さまにおかれましては、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）へのご協力をお願い申し上げます。



福山大学ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）

目次

| | | |
|------------|---|-----------|
| I | 男女共同参画推進に係わる福山大学の基本施策 | 3 |
| | 1. 福山大学男女共同参画基本計画2019（第2次） | 3 |
| | 2. 福山大学男女共同参画宣言 | 4 |
| | 3. 女性教員比率向上のためのポジティブアクション | 4 |
| | 4. ワークライフ支援室（男女共同参画推進室） | 5 |
| II | データで見る男女共同参画社会の現状と課題 | 6 |
| | 1. 社会環境 | 6 |
| | (1) わが国における男女共同参画社会の形成促進に関する施策 | 6 |
| | (2) ジェンダー・ギャップ指数 | 7 |
| | (3) 各分野における指導的地位に占める女性の割合 | 8 |
| | (4) 管理的職業従事者（企業）に占める女性の割合及び国際比較 | 9 |
| | (5) 役員（企業）に占める女性の割合及び国際比較 | 10 |
| | 2. 生活環境 | 11 |
| | (1) 女性の就職率の推移 | 11 |
| | (2) 共働き世帯数の推移 | 11 |
| | (3) 女性の年齢階級別労働力率の推移 | 11 |
| | (4) 女性が職業を持つことに対する意識の変化 | 12 |
| | (5) 子育て家庭における男児・家事への関連時間 | 13 |
| | (6) 介護を必要とする家庭における介護担当者 | 14 |
| | 3. 教育・研究環境 | 15 |
| | (1) 学校種別進学率の推移 | 15 |
| | (2) 高等教育在学率の国際比較 | 15 |
| | (3) 性別高等教育終了後の就職率の国際比較 | 16 |
| | (4) 教育段階別本務教員総数に占める女性の割合 | 17 |
| | (5) 女性研究者数及び研究者に占める女性の割合の推移 | 18 |
| | (6) 研究者に占める女性の割合の国際比較 | 18 |
| | (7) 大学（学部）及び大学院（修士課程）学生に占める専門分野別女子学生の割合 | 19 |
| | (8) 大学等の専門分野別女性研究本務者の割合 | 20 |
| III | 福山大学の教育・研究に係わる男女共同参画の現状 | 21 |
| | (1) 平成30年度学部及び大学院に在学する女子学生の割合 | 21 |
| | (2) 本学における学部別職位別の女性教員数の年次推移 | 22 |
| | (3) 本学の職位別の男女教員割合の年次推移 | 23 |
| | (4) 本学の職位別における女性教員の年次推移 | 23 |

【本冊子は、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）で閲覧できます】

編集後記

この活動報告書は、2019（平成31）年度から取り組む、第2次基本計画について示したものです。また、我が国の状況について各種行政レポートから読み解くと同時に、本学の状況も示しました。全国の状況からも、働きやすく学びやすい環境に向け、第2次基本計画を進めていく必要性を感じました。

この活動報告書に対するご意見やワークライフ支援室（男女共同参画推進室）に対する要望等、皆様から忌憚のないご意見をお待ちしています。

ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）

杉原成美

石井香代子

高羅 ひとみ

劉 国彬

中道 上

谷口敏淳

奥村健一



ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）レポート

～福山大学男女共同参画基本計画2019（第2次）の紹介～

編集 福山大学ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）

発行 2019（平成31）年3月15日

福山大学



ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）レポート
～福山大学男女共同参画基本計画 2019（第2次）の紹介～

編集 福山大学ワークライフ支援室 2019（平成31）年3月